

東北医科薬科大学 若林病院 連携だより

看護部長就任のご挨拶

看護部長 若生 さと子



私は、1月東北医科薬科大学病院から異動し4月1日付で東北医科薬科大学 若林病院看護部長を拝命いたしました。大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。

この場所に当院の前身である NTT 東日本東北病院が新設された当時、田園風景の中に立派な建物が建設され、とても目立っていたことを思い出します。あれから約40年、病院の周囲には商業施設が立ち並び景観は一変し、今では病院に入る道路を迷うほどになりました。

さて、当院は2016年4月より東北医科薬科大学 若林病院として新たなスタートしましたが、これからもその歩みを止めることはありません。今年1月には透析センターを増床したばかりですが、9月には急性期病床を増やし127床へと増床します。同時に病棟の再編成も予定しており、様々な組織変革の中で、業務構築を進め看護師の適応力・推進力が日々求められていると感じています。ただし、変革の中においても、患者さんへ寄り添う気持ち、職員同士を思いやる心と、倫理的感受性を忘れずに看護をしていきたいと思えます。

「患者サービスを徹底し、この病院に来てよかったと思っただけのようなところ温まる看護を実践する」という看護部理念のもと、今まで作り上げてきた組織風土を継承しつつ、新たな風を取り入れられるよう努力して参る所存です。

最後になりますが、就任早々新型コロナウイルス対策で頭を悩ますとは思ってもみませんでした。1日も早い収束を願うばかりです。

病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のこもった温かい良質な医療の提供に努めます。

～目次～

- 看護部長就任のご挨拶……………P.1
- 新型コロナウイルス対策にご協力をいただいております ……P.2
- 診療科紹介 -糖尿病内科- ……………P.3
- 新任医師よりご挨拶・退職に寄せて……………P.4

新型コロナウイルス対策にご協力をいただいております



- マスク着用のお願い**
- 病院入り口の制限**
- 開門時間**
- 入り口での検温について**

ご来院の際は、マスク着用をお願い申し上げます。マスクがない場合は、ハンカチ等で口をふさぎ来院ください。

病院への入り口を正面玄関1か所に限定しております。

【平日】8:00～18:00
※上記時間以外に来院されても院内への立ち入りはできません。
【土日祝】終日閉門

来院者全員に検温・問診をさせていただいておりますが、現在は停止しております。

当院での取り組みの一部をご紹介します

飛沫感染予防

受付窓口、各科外来窓口にて透明ビニールシートを設置し、窓口対応者および医療スタッフはフェイスシールド等を装着しております。

定期的な清掃

通常の清掃業務に追加して、外来フロア、人工透析センター、病室等において定期的に清掃を行い、接触感染リスクの軽減に努めております。



入院患者様の面会制限

入院患者様を感染から守るため、ご面会を制限させていただいております。

電話再診・処方箋発行

慢性疾患で当院から定期処方を受けている患者様を対象に、電話による診療・処方箋発行（※電話再診）を行っています。

【注意事項】

- ①対象：当院に事前予約がある定期受診の方（眼科・メンタルヘルス科は対応していません）
- ②原則、ご自身の外来予約日前までにお電話ください。
- ③電話再診予約受付時間 平日 15時～17時（土日祝除く）
- ④医師の判断で電話による診療・処方箋発行をお受けできない場合がございます。
- ⑤電話再診の予約時間に電話が繋がらなかった場合は、原則として再度の連絡はお約束できかねます。
- ⑥処方箋は病院から患者様ご指定の薬局へFAX送信し、追って薬局へ送付いたします。送付に係る送料は患者様のご負担となります。

電話再診
予約

電話再診

薬の受取

支払い

「市民向け感染予防ハンドブック」是非ご覧ください

東北医科薬科大学医学部 感染症学教室 賀来満夫特任教授監修のもと「市民向け感染予防ハンドブック」発刊されております。

ご家庭での新型コロナウイルス感染予防にお役立てください。ハンドブックは東北医科薬科大学病院ホームページより閲覧およびダウンロードができます。

なお、当院では本ハンドブックの紙面における配布の予定はございませんので、ご了承くださいますようお願いいたします。

東北医科薬科大学病院 ハンドブック **検索**

ハンドブック (日本語) PDFデータ	http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/information/2326/	
ハンドブック (多言語) PDFデータ	http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/information/2377/	
YouTube 動画 視聴紹介ページ	http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/info/information/2339/	

マスク等を寄贈いただきました

新型コロナウイルスの感染拡大が続いておりますが、多くの個人、企業・団体の皆様よりマスクやレインコート等を寄贈頂きました。

この場をお借りしまして、心より御礼申し上げます。

マスク等の医療物資が不足する中、皆様からの温かいご支援・ご声援を賜り、感謝に堪えません。寄贈いただいた医療物資は、病院内で有効に活用させていただき、皆様に安心・安全な医療を提供できるよう職員一同全力を尽くしてまいります。



診療科紹介 — 糖尿病内科 —

糖尿病内科部長 佐藤 譲

先生方には日頃、病診連携でお世話になっており感謝申し上げます。

<糖尿病の現状>

糖尿病患者一千万人、予備軍一千万人時代の糖尿病診療の目的は健康寿命の延伸です。糖尿病があると細小血管障害（神経障害、網膜症、腎症）、大血管障害（心筋梗塞、脳梗塞、閉塞性動脈硬化症）、足壊疽、歯周病、認知症、癌、感染症重症化などのリスクが上昇して健康寿命を短くします。

一方、血糖・血圧・脂質の厳格なコントロールと禁煙がこれらの合併症を予防・進展防止して延命効果をもたらします。治療薬の進歩によってこれらコントロールは良好になってきましたが、このうち最も難しいのは血糖コントロールです。作用機序の異なる7種類の経口抗糖尿病薬に加えてGLP-1受容体作動薬、インスリンが揃っているにも関わらず、血糖コントロールが困難な患者さんがたくさんおります。その理由は糖尿病の病態が複雑なためです。

インスリン低分泌・抵抗性、インクレチン作用不足、腎の糖吸収過剰、グルカゴン過剰分泌、食欲異常などに、食生活、身体活動など生活習慣や心理や人生観などが複雑に絡んで高血糖を形成しています。このために良好な血糖コントロールのためには一千万通りの個別化医療が必要です。

<対象患者>

糖尿病、脂質異常、代謝疾患など。健診で発見された糖尿病の初回治療（長期療養とβ細胞保護のために最初が肝腎）、治療困難例、急性・慢性・重症合併症例（関連各科が揃っております）など、お困りの症例は何でも、いつでもご紹介ください。外来、教育入院、一般入院などで専門医が適切に対応し、改善後に逆紹介いたします。

リアルタイムCGM、インスリンポンプ、妊娠糖尿病の管理もやっております。

<診療体制>

複雑系の疾患である糖尿病診療は多職種（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、臨床検査技師、歯科衛生士、運動療法士、医療連携室など）から構成される糖尿病チーム（ページ下部写真）によって支えられています。医師陣は平井敏先生、小林靖卓先生（7月から本院で研修予定）、川名さやか先生（健診センターと併任、5月から産休）に加えて、この4月から私が健診センター併任から糖尿病内科専任となり、また氏家啓太先生（新任医師紹介参照）が本院から加わりました。これに伴い糖尿病外来枠（表）も増え、より充実した医療サービスを提供できるようになりました。

(1)糖尿病外来：午前中に朝食抜きでご紹介ください。

連携室経由でご予約いただくとスムーズに受診できます。

(2)入院：随時受け入れております。

		月	火	水	木	金	
糖尿病外来	午前	新患・再来	佐藤 譲 平井 敏 一般外来 (新患)	佐藤 譲 平井 敏	佐藤 譲 小林 靖卓 (7月から) 氏家啓太	佐藤 譲 平井 敏	
		再来		小林 靖卓 ↓ (7月から) 氏家 啓太	小林 靖卓 ↓ (7月から) 氏家啓太		
	午後	新患・再来		平井 敏 氏家 啓太		平井 敏 氏家 啓太	平井 敏
		再来				平井 敏 氏家 啓太	平井 敏

糖尿病チーム



毛取歯科科長

佐藤糖尿病内科部長

平井糖尿病内科科長

小林医師

新任医師よりご挨拶 (令和2年4月1日付)



健診センター所長
谷田 達男 医師

令和2年4月1日より健診センター所長として異動してまいりました。前任は東北医科薬科大学名取守病院で、約2年間副院長を務めておりました。専門は呼吸器外科で、平成13年から平成30年まで若手医科大学に勤務しておりました。現在、産業界の資格を所持していることから健診と人間ドックの仕事をさせていただくことになったものと思います。健診とドックに関しては各科の先生方、メディカルスタッフの方々のお世話になることが多々あると思われまふ。何卒宜しくご指導、ご協力をお願い申し上げます。



腎臓内科
宮澤 恵実子 医師

2020年4月より腎臓内科として着任いたしました。今年は透析センターの増床もされ、今後更に新規透析導入や維持透析の受け入れにもお力になればと思っております。また、これまで同様に若林地区の先生方と連携し、早期の腎障害や軽度の尿所見異常に積極的に介入し、結果的に透析導入症例を減らしていければと考えます。どんな症例でもどうぞお気軽にご相談ください。宜しく願い申し上げます。



眼科
太田 裕也 医師

2020年4月1日から眼科へ赴任して参りました。これまでと同様、外来治療や入院での白内障手術などで地域の皆様に安心いただけるような医療を行っていききたいと思います。新型コロナウイルス禍で受診を躊躇う気持ちもあるかと思いますが、眼のことで心配なことがありましたら誠意を持って対応しますので遠慮なくご相談ください。何卒宜しく願い致します。



産婦人科
田上 和磨 医師

2020年4月より産婦人科医師として着任させていただきました。当院は良性婦人科疾患に対する低侵襲治療（腹腔鏡、子宮鏡）に特化しており、多くの患者様を御紹介いただいております。より良い医療が提供できるように、向上心を持ちながら日々勤務をさせていただいております。どうぞ宜しく願いいたします。



内科（消化器内科）
津守 孝彦 医師

4月より当院で勤務させていただいております内科専攻医の津守と申します。前職は東北医科薬科大学病院消化器内科に勤務しておりました。医師として日々学ぶことが多いですが、少しでも早く患者様のお役に立てるよう努力してまいりますので、どうぞ宜しく願いいたします。



内科（糖尿病内科）
氏家 啓太 医師

2020年4月より内科の後期研修医として働かせていただくこととなりました。東北医科薬科大学病院で初期研修を終え、現在は糖尿病を専攻しておりますが一般内科も診れるように日々邁進しております。まだまだ不慣れなところもございますが、地域の皆様安心して診療を受けられるよう心掛けてまいります。どうぞ宜しく願い申し上げます。

退職に寄せて (令和2年3月末日付)

外科 福田 かおり 医師

2004年6月から約16年間大変お世話になりました。2011年の東日本大震災、NTT東日本東北病院から東北医科薬科大学若林病院への組織改変など、医師として、人間としていろいろな経験をさせて頂きました。近隣の先生方、当院スタッフの皆さまにはいろいろとご指導、ご協力いただき、このように長い間充実して勤務できたと感謝の気持ちでいっぱいです。当院で学んだことを生かして次の勤務先でも患者さまのために精一杯働く所存です。次の勤務先は仙台市立病院となります。今後とも、近隣の先生方、若林病院の先生方には大変お世話になると思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

産婦人科 平賀 裕章 医師

2019年4月より1年間、産婦人科で勤務させていただきました。若林病院での経験は、産婦人科医としてとても大きな財産となりました。至らぬ点もあったかと存じますが、近隣の諸先生方には大変お世話になり心より感謝申し上げます。2020年4月より仙台医療センター、7月より東北大学病院で勤務予定となっております。1人ひとりの患者さんにとって更により良い医療を提供できるよう、引き続き研鑽を積んでいきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

薬剤部部長 石澤 文章

私は昭和54年に当時の電電公社が「東北通信病院」を開院した時に新人薬剤師として奉職し、病院が「NTT東日本東北病院」「東北医科薬科大学若林病院」と名称や経営母体の変更されてきたなか、変わらず当院に通い続け、通算41年間勤めさせていただきました。私にとっては病院薬剤師のスタートから一つの区切りまでを過ごし、その間様々な経験をさせていただいたことは大きな財産であり、今後はそれを糧に薬剤師として新たな活動をしていきたいと考えております。最後にこれまで皆様に様々なご指導ご鞭撻を頂戴したことに衷心より感謝申し上げます。お世話になり本当に有難うございました。

整形外科 齋藤 毅 医師

平成24年4月から8年間整形外科で勤務させていただきました。この8年間にはNTT東日本東北病院から東北医科薬科大学への事業譲渡、電子カルテ導入等大きな動きがありました。地域の先生方から多くの患者さんをご紹介いただき、心優しいスタッフの協力のもと恵まれた環境で多くの症例を経験することができました。心より感謝申し上げます。今後も若林病院で学んだ経験を生かし精進してまいります。これまで本当にお世話になりました。今後とも宜しく願いいたします。

看護部部長 鈴木 郁子

NTT東日本東北病院23年間、若林病院4年間勤め、地域の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。この27年間、医療を取り巻く情勢は大きな変化がありました。若林病院は地域での役割が明確になり、ますます地域の医療・福祉・介護と協力しながら患者を支えていくようになっていきました。これからも若林病院はその中核を担っていくと考えます。新しい体制になりますが今後もご支援のほどよろしく願いいたします。ありがとうございました。私は、4月から「介護老人保健施設なとり」で働いています。自然が多く仙台市を眺望する場所にあります。これからも医療・福祉・介護の連携を進めていこうと考えています。



東北医科薬科大学 若林病院
患者総合支援センター

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1
TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920